

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	映像リテラシーB2	
科目基礎情報							
開設学科	放送芸術科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	山田素子・笹本篤・金原聖			実務経験の有無・職種	有 映像制作業務		
学習目的							
放送・映像業界が産業の転換期を迎える中、本当の意味で現場から求められる人材を育成すべく映像制作におけるより広く深い専門知識を学ぶと共に学生自身がより能動的に学ぶ機会を提供する事を目的として「MA・音響効果」「Adobe基礎・カラーグレーディング」などいくつかの専門科目を開講。							
到達目標							
各講座でそれぞれの基礎を理解し撮影・制作現場にて求められる最低限の専門知識を身につける。また、それらの応用として各講座で学習した専門知識を具体的に作品・番組に反映させた企画立案を目標とする。							
教育方法等							
授業概要	「MA・音響効果講座」「A d o b e 基礎・カラーグレーディング講座」などを実施。尚、開講詳細については、年次・希望人数などの関係で変更の可能性があります。						
注意点	講座によっては機材を扱う事もあるが使用の際は必ず担当講師・教員の許可を受けるもしくは指示のもとに取り扱う事。実習形式の授業も含まれる為、欠席・遅刻・途中退出については厳しく取り扱う事を理解する事また授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	80%	学期末試験の点数を評価する				
	コメントペーパー	10%	各回の感想や質問を記入してもらうが、特に記述が優れたものは最大10%の割合で評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	MA基礎①			MAとは何かを理解する(MA作業の流れ、音響専門用語の理解)			
2回	MA基礎②			MAに必要な機材を理解する（マイク、スピーカー、コンソール、DAWの役割）			
3回	MA基礎③			Protoolsの基本操作。設定、録音、簡単な編集ができるようにする			
4回	MA基礎④			ナレーション収録（マイキング、適正レベルの理解、ブースとのコミュニケーション）			
5回	MA基礎⑤			整音の意味と方法を理解し、単純な同録の仕込みができるようになる			
6回	MA基礎⑥			スムーズなカット			
7回	音響効果基礎①			音が映像に与える効果を理解し、SEの種類を覚える（フォーリー、アンビエンス等）			
8回	音響効果基礎②			BGMの選曲の仕方を理解し、実際にテーマに沿った選曲をする			
9回	音響効果基礎③			自分たちで効果音を収録し、実際に作ってみる①（収録機材の使い方）			
10回	音響効果基礎④			自分たちで効果音を収録し、実際に作ってみる②（様々な音の再現）			
11回	MA基礎⑦			エフェクターの効果、使用方法を覚える			
12回	MA基礎⑧			イコライザーを理解し、目的に合った音質を作る			
13回	MA基礎⑨			ミキシングの意味とその方法を理解し、それぞれの音の適正レベルを考える			
14回	MA基礎⑩			実際にミキシングができるようにする			
15回	MA基礎⑪			完成したMIXをトラックダウンし、データにして映像に当てこむまでの理解			